

事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報

1 事務事業に関する基本情報					令和	6	年度
事業番号	315		事業名	森林環境整備事業			
担当課	産業観光課			担当係	林業水産係	担当者	小出振一郎
総合計画に最も 関連ある施策	施策	5	活力ある産業づくり		連絡先	0858-76-0208	
	施策体系	1	農林水産業の振興		事業区分	□新規	
	主な事業	森林整備の推進、人材育成や担い手の確保及び木材利用の活用等				■継続	
予算区分	款	5	農林水産業費		事業実施 主体	■八頭町	
	項	2	林業費			□その他	
	目	2	林業振興費		計画期間	開始	平成24年度
	事業	315	森林環境整備事業			終了	

2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 ・一般住民、森林所有者、林業従事者、森林組合等					
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 ・森林の適正な整備や林業従事者の待遇改善、木材の有効活用、町民の森林への関心向上を推進するため、森林環境譲与税を活用した事業を実施する。					
事業の内容・手段	事業の規模や業務量など、また、どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 ・森林経営管理制度に基づく森林の集積及び森林整備の実施、木材搬出道修繕への支援、危険木伐倒への支援、林業従事者への支援、新生児に対する八頭町産木製玩具の贈呈、はたちのつどい木製記念品の贈呈、八頭町産木材利用促進等。					
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 ・適正に管理された森林の増加、林業就業者数の増加、町内での木材利用の増加、住民の森林に対する関心の向上。					
根拠法令等	1	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし			法令等名→	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律

3 活動指標、成果指標

活動指標		単位	事業の手段を図るものさし
	A	ha	森林経営管理制度意向調査面積
	B	人	林業従事者支援人数
	C	件	八頭町産木材利用促進事業活用件数
	D		
成果指標		単位	事業の成果、到達点を図るものさし
	A	ha	経営管理権集積面積
	B	ha	森林経営管理事業実施面積
	C	人	林業従事継続者数
	D	m ³	八頭町産木材利用促進事業材積

4 コスト

区分			R3年度	R4年度	R5年度		R6年度		R7年度
			実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	A	ha	224	265	350	176	350	183	200
	B	人	26	25	50	25	50	55	55
	C	件	-	-	-	-	3	0	4
	D								
成果指標	A	ha	-	23	22	19	20	18	20
	B	ha	-	23	22	19	20	18	20
	C	人	59	55	55	55	55	55	55
	D	m ³	-	-	-	-	30	0	40
トータルコスト		千円	37,039	37,453	37,818	38,607	36,782	50,139	38,407
担当職員数		人	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
職員人件費		千円	12,000	12,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
事業費		千円	25,039	25,453	29,818	30,607	28,782	42,139	30,407
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円							
	県支出金(交付金・補助金)	千円							
	地方債(借入金)	千円							
	事業収入(使用料・参加費等)	千円							
	一般財源(単町費)	千円	25,039	25,453	29,818	30,607	28,782	42,139	30,407

事務事業計画書兼評価表(B表)

5 実施活動内容・成果(到達点)

令和 6 年度

実施活動内容・成果(到達点)	実施活動内容(具体的に)
	森林の適正な整備や林業従事者の待遇改善、木材の有効活用、町民の森林への関心向上を推進するため、森林環境譲与税を活用した事業を実施。主な事業は以下のとおり。 ・森林経営管理制度に基づく意向調査を212人(182.55ha)に実施。森林管理権集積計画(18ha)を策定し間伐事業を実施。 ・木育推進のため八頭町産ヒノキを使用した積み木を誕生祝として58セット製作。 ・危険木予備伐採補助事業を3箇所実施し98本の危険木を伐採。 ・担い手育成のため林業従事者の安全用具や林業技術習得に対して助成を実施。
	成果(具体的に) ・森林経営管理制度を推進することで町民の森林整備に対する意識向上につながった。 ・八頭町産の木材を使用した積み木を贈呈することで、子育て世代に対して森林・林業に対する親しむ取組みができた。(アンケート調査でも木材への親しみが増したと回答がほとんどであった) ・危険木予備伐採を行うことで、積雪時の倒木被害を未然に防ぐことができ、町民の安全安心な生活に寄与した。 ・林業従事者の安全用具等購入等の個人負担を軽減し、林業従事者の待遇改善、技術向上につながった。

6 事務事業の評価

評価項目	評価点	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
必要性 (町民ニーズ)	①	①必要性が高い	・森林の有する公益的機能は、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や水源の涵養等、国民に広く恩恵を与えるものであり、適切な森林の整備等を進めていく必要性は非常に高い。 ・森林の適正な整備や林業従事者の待遇改善、木材の有効活用、町民の森林への関心向上を推進するため、森林環境譲与税が町に交付され事業実施を行う。 ・令和元年度より森林環境譲与税を活用し事業実施しているが、委託事業のあり方等を検討が必要である。 ・八頭町の森林は標準伐期を超えている森林が8割であるため皆伐再造林を含む計画的な森林整備が必要である。 ・森林整備については、意向調査により森林経営に関して町民の意識づけを行い18haの森林整備を実施できた。また、危険木予備伐採補助事業を昨年度から実施し積雪による倒木被害が軽減した。また、木育のための積み木贈呈事業では、アンケート調査を実施し受理者からは高評価を得ている。
		②どちらかと言えば必要性がある	
		③必要性が低い	
		④必要性がない	
妥当性 (町が行わなければならないか)	①	①町が行わないといけない	
		②どちらかと言えば町が実施	
		③妥当性が低い	
		④妥当性がない	
効率性 (コスト削減の余地は無いか)	②	①効率的である	
		②どちらかと言えば効率的である	
		③どちらかと言えば非効率的である	
		④非効率的である	
緊急性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	②	①緊急性が高い	
		②比較的緊急性がある	
		③緊急性が低い	
		④緊急性がない	
成果 (目的の達成状況)	①	①成果が上がっている	
		②どちらかと言えば上がっている	
		③どちらかと言えば上がっていない	
		④成果が上がっていない	

7 町の方向性・方針

事業の方向性	問題点及び今後の課題・方向性
1 拡充する	(事業活動に当たり、一番の問題点として捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所) ・木材価格の低迷等による森林への関心が低下していることや所有者不明森林や不在村所有者の増加により森林整備が遅れている。 (上記問題点を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか) ・森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度を計画的に実施し町民の森林への関心向上を推進する。
2 改善・効率化し継続	
3 現状維持	
4 見直しの上縮小する	
5 終期設定し終了	
6 廃止	